



### 貴名山 妙日寺

正慶元年(1332)身延山久遠寺の日善によって開かれた古刹。寺には日蓮上人の父(妙日尊儀)、母(妙蓮尊尼)の墓がある。(寺名は父の法名を号とした)  
 日蓮の父、貴名重忠は源平合戦において平氏に味方したため鎌倉幕府から安房国長狭郡小湊(千葉県天津小湊)に流され、そこで貞応元年(1222)に日蓮が生まれる。父は正嘉2年(1258)亡くなる。  
 ここは元貴名氏の屋敷跡といわれ、寺は近くの石野にあり貴名一族の墓所といわれた正覚寺(今廃寺)で明治時代ここに移されたという。初代四郎、2代行直、3代重実の供養塔もある。  
 境内には遠州七不思議の一つ、「片葉の葦」がある。



上貫名松並



花萸産公園

### 善光寺・仲道寺

平安の初期、伝教大師の彫った阿弥陀仏を携え奥州征伐に向かった坂上田村麻呂一行は兵が難病にかかったのでこの地に留まり療養。田村麻呂は阿弥陀仏に願をかけたところ難病が治ったのでここにお堂を建てたという。(善光寺)  
 仲道寺は享保18年(1733)近くの高御所にあった寺が移されたもので、江戸時代東海道を測量したところここが真ん中であつたところから寺の名がついた。



仲道寺

### 大池橋・秋葉街道

橋は文化・文政年間の記録によると長さ52m、幅5.2mの土橋。西端に青銅の鳥居と両側に常夜灯があり秋葉山へ通じる入口を示していた。秋葉山へはここから9里。  
 [弥次・喜多]秋葉3尺坊分かれ道、選擇して  
 ”脇差の貳尺五寸もなにかせん  
 三尺ぼうの誓ひたのべば”



大池橋、秋葉街道分岐

### 十九首塚

平将門一門19人の首塚。天慶の乱(天慶2年・939)を平定した藤原秀郷・平貞盛が将門一門の首を京へ護送途中、掛川まで来ると、京から来た首実検の勅使が到着。首実検後晒され、路傍に捨てられた。それを知った秀郷は「逆臣といえども屍に鞭打つのは非道なり」と言って塚を造り懇ろに葬った。当時は19塚であつたが1つにまとめられている。



[弥次・喜多]日坂宿で、  
 巫女と付き添いの婆の二人連れと泊まりあわせる。  
 北八、巫女に夜這いするが暗闇で婆のところへ  
 あとから弥次さんが・・・、口を合わせたのは仲間同士  
 ”いち子ぞとおもふてしのび北八に  
 (巫女) 口をよせたることぞくやしき”